



参画と協働のまちづくり 新生太田総合計画のスタート

ごあいさつ

わたしたちのまち太田市は、平成17年3月28日に太田市、尾島町、新田町及び藪塚本町が合併し、人口21万人を超える新市として誕生しました。

本市は、利根川と渡良瀬川の水の恵みと、金山八王子丘陵の豊かな緑を有し、古来より歴史と文化に育まれてきました。東毛の中核都市として発展を遂げ、平成19年4月から特例市として、さらなる飛躍を目指し、新たな一步を踏み出します。

さて、21世紀は、本格的な少子高齢化社会の到来、安全・安心に対する意識の高まり、地球環境問題の深刻化、さまざまな教育問題など、課題が山積しております。

こうした情勢を踏まえ、本市では今後のまちづくりの指針として、平成28年度を目標年度とする「新生太田総合計画」を策定しました。この計画は、合併後初めてとなる計画で、本市が発展するための基礎づくりを行い、新しいまちづくりを計画的に進めるものです。

また、平成18年4月に市民の手づくりによる「太田市まちづくり基本条例」を施行しましたが、合併を契機に市民と行政が知恵を出し合い、お互いに協力して参画と協働のまちづくりを進めるため、この条例を基本に計画を策定しました。

今後は、この計画に基づき、将来の都市像である「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」の実現に、市民の皆様とともに取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、策定にあたり、ご尽力いただきました市議会、審議会の皆様、並びに貴重なご意見やご提言をいただきました多くの市民の皆様にご心からお礼申し上げます。



太田市

平成19年3月

太田市長

清水聖義